

婦人と子ども

保姆その人

大正六年二月一日
第十七卷第二號

教育は綜合作用である。幼稚園教育も亦極めて複雑なる諸方面の作用の協同合致によつて、始めてよく其の効果をあらはし得べきものである。吾人は時に其の一面を擧げ、一作用を捕へて、其の大切なるを説く。或は制度に重きを置いて論ずることもある。或は學理の研究の要を説くに専らなることもある。特に幼稚園教育に於て、設備の貴重なる所以を極論することもある。幼兒等自身の相互作用の如何に教育的價値に富むかを見て、頗る之れを尊重するの論をなすこともある。其の他曰く何、曰く何、苟も幼稚園教育の問題として數へらるべきもの、其の大小を問はず、いづれも皆、幼稚園教育をして其の完き効果を實現せしむ

るに缺くべからざるものである。その最も小なる如く見ゆる事項と雖も、之れを忽せにして可なるものはない。又其の一つくを如何に尊重し、將た過重するも亦、恐らく其の必要を認むるに於て過ぐることはないであらう。

しかし、之等の綜合作用の中にあつて、最も基本的喫子の要約的作用をなすものは——之れあるが故に、他の諸作用が始めて教育的に活きて來るものは——之れ無ければ、他の諸作用のすべてが、教育的に死するものは——更めていふ迄もなく、保姆その人である。保姆その人、實に實に保姆その人に、幼稚園教育の究極の解決がある。此の意味に於て、教育は綜合作用である前に、それより

も尙基本的意義に於て人の作用である。

人の作用であれば、その人以上のことは出来ない。他の多くの作用は、此の『人の作用を一ぱい發揮せしめ、完成せしむべく、參加するものに過ぎない。人を外にして、其の他の條件で教育を完うしてゆこうとするのは、射手のない弓で鳥を射んとし、弾き手なしの琴から、音楽を聴こうとするよりも無理なことである。なくてならぬものは人である。保姆その人である。

幼稚園の教育に於ては幼児を尊重するといふ。

しかも此のことは、たゞに幼児に自由を許すといふだけでは出来ない。保姆その人が自由の人でなければならぬ。而して自由の人とは、自由主義の理解者といふだけではない。又、自由を愛する人といふだけではない。彼みづから自由（人格）を有しないで、知識的に自由を理解し得る人もある。或は又、彼みづからの性情の反動として、自由を憧憬し又之れを愛好する場合もある。そう

いふ人は自分で自由を與へる積りでも、幼児は決して眞の自由を與へられない。却つて、その人の有せる不自由或は假りの自由を受け取る。人に眞に自由を與へ得る人は彼みづからが、自由を持つ人でなければならぬ。

幼稚園教育は個性を尊重しなければならぬといふ。しかも、個性尊重は、個性の心理學的理解ではない。また、個性の放任でもない。個性尊重は尊重であつて、他人の個性を尊重し得るものは、彼みづからが、先づ、自分の個性を尊重し得て居るものでなければならぬ。少くも、自己の個性の充分なる意識を持つものでなければならぬ。殊に、教育に於ける個性尊重は、たゞあるがまゝの個性を、それ自身として承認するだけではなくして、之れを一層向上せしめ、發展せしめんとする意志を含むものである。而して、此の意志は、自ら已れの個性を向上せしめ、發展せしめんとする努力を有することなき者に、決して生じ得べき

ものではない。人の個性を尊重し教育し得るものは、みづから自分の個性を尊重し教育するものでなくてはならない。

幼稚園教育に於ては、幼児に美の趣味を興ふべしとか、知性の正確さを興ふべしとかいふ。しかも、保姆その人にして、美の深き趣味なく、知性の正確なくして、何の處よりか、此の教育が可能にならう。之れ等は一例である。吾人は斯くの如く考へ來つて、幼稚園の教育効果の一切を擧げて——少くも其の責任の一切を擧げて保姆その人に歸せざるを得ざるに至る。必ずしも極端の言ではないと信ずる。

但し、斯くの如き言をなすを以て、保姆諸君を責むるに急なるもの、苛酷なるものと誤解せられてはならない。吾人は、幼稚園教育の困難さに就て、その實情を最よく知悉せるものとして、寧ろ諸君の事業と苦心とに無限の諒察を惜まないものである。しかも、吾人が今日此の論をなすものは、

幼稚園の教育効力の最中心點を明かにせんとせるに他ならない。而して、敢て言ひ得ることは、すべての幼稚園は、その保姆が、銘々に、如何に常に此の中心點を凝視せるかによつて、其の教育的價値が定めらるゝといふことである。

ところで、此の評價は、設備の評價や、方法の評價と違つて、外からはよく分らないことである。又假りに分るものであつた處で、かくの如き處まで深入りして批判することは其の人の前でも——泥んや其の人以外の人の前でも——餘りに無禮なことになる。故に、此の批判は、自分みづがら以外、何人も觸れては呉れないであらう。かくて、保姆その人といふ問題は、どこ迄行つても、保姆自身の問題である。あなたの問題を當然あなたに擔はせる。これが、あなたの幼稚園を、我國の幼稚園を、意義あらしむる第一の出發點である。あゝ何たる平凡な、そして言ふべく苦しい言葉であらう。